

あなたはどこにいるのか

2024年12月29日

創世記 3章8～13節
列王記I 19章1～21節

序：2024年の終わりに1年を振り返る（実に、激動、大変化）
自分、教会の歩みを振り返る（信仰者として、この世での生活
無関心、無慈悲、無感動、無秩序……が広がる人間世界

神の二つの問いかけ

①あなたはどこにいるのか 創世記 3・9

②（エリヤ）よ。ここでなにをしているのか 列王記I 19・9、13

I. あなたはどこにいるのか 創世記 3章8～13節

(1)墮落

①アダムとエバは神に背いた（善悪の知識の木から取って食べた）
従う自由と従わない自由（自由意志を悪用）⇒ 罪

②神との親しい交わりは断絶、身を隠した

③神の語りかけ ⇒ すなおに自分の罪を認めないで言い訳をする

④アダムもエバも責任転嫁して、他人のせいにする
アダムはエバ（神が自分に与えた伴侶）と神のせいにし、自己義認
エバは誘惑した蛇（サタン）のせいにし、自己義認

(2)回復

①救い主イエス・キリストを信じ、告白（by 聖霊、みことば）＝ 回心
先週、ご降誕を感謝し、祝う降誕節

②信じた時から、聖霊が内住 ＝ 聖化（罪、サタンとの戦い）

③神への信頼（祈り）、神に喜ばれる生活（思い、ことば、行動）

④ゴールは天の永遠の御国（待ち望みつつ、地上では与えられた働きに勤しむ）

(3)回復されたが、完成に向かう途上にあるのが、私たちの現段階
あなたはどこにいるのか？ どこに立っているのか？

①有神論（神がおられる） VS 無神論（神はいない）
すべてのものの創造主 目に見えるもの、物質がすべて
神中心 人間中心

②神のそば近くにいる VS 神から距離をおき、離れている（世の友

③信仰と生活の基準は神のことば VS この世界の知識・人間の知恵
不変、普遍 ヒューマニズム 変化 変遷
リベラル

④神の評価を気にする VS 他人の評価に左右される

II. あなたはここで何をしているのか 列王記 I 19章

(1)大成功の後の虚脱感

450対1 パアルの預言者たちとの対決（王妃イゼベルとの対決）
2～3年の干ばつの後、大雨（アハブ王への勝利）

(2)自分のいのちが狙われている恐怖感、諦め、落胆 イゼベルの目的はエリヤ殺害ではなく、追放？

(3)神の慈しみ深いもてなし

えにしだの木陰で身を横たえて眠る
主の使いを送って、パンと水を与える
励ます（起きて食べなさい）

(4)力を得て、エリヤは40日40夜歩いて、ホレブ山に着く（モーセ・十戒）

(5)神の顕現

①何をしているのか : イスラエル人たちの契約違反、預言者殺害、唯一生き残った自分のいのちも風前のともしび

②主の前に立て : 主が通り過ぎた、激しい大風、地震、火……主はおられない

③①の繰り返し

④新たな召命（油を注いで任命）

ハザエルをアラムの王とせよ
エフーをイスラエルの王とせよ
エリヤの後継者としてエリシャを預言者とせよ

⑤パアルを礼拝しない7000人のイスラエル人を残しておく（エリヤ1人でない）

(6)エリシャを仕事の真っ最中に召命、エリシャは速やかに従う

III. 結び

(1)来年は、日本にとって存亡の岐路に立つ時。キリスト者は、教会はいかなるスタンスに立つのか（他人をあてにせず、自分でみことばを聴き、祈り、行動する）
（教会は信仰による一致をもって対応していく）成人のレベルへ

(2)自分自身と教会がどこにいるのか、何をしているのかを知る 正直・率直な自己評価、反省、そして新しい目標に向かって進む

(3)神の召命に応えるため、賜物を死蔵せず、皆の益のため活用する
他人と自分を比較しない（比較すると優越感、劣等感、高ぶりや卑下が生じる）
最低限無駄ないさかいは回避する、励んでいる人の足を引っ張らない

(4)分断ではなく構築へ、破壊・消滅ではなく耐え忍んで建て上げる方向に
「しない」「止める」と決める前に「どうしたらできるか」を考える

(5)安易に解答を得る（例えばスマホ、メディアを通して）＝皆同じ答えを目的にしてはいけない 途中のプロセス、失敗も貴重な糧となる

(6)「世にあって、世のものでない」キリスト者は、この世をよく知り分かった上で、信仰によって、世とは違った生き方をもって福音を証しする。心に余裕を持って